

# House Of Vedaの支援

## 感覚統合と姿勢改善を中心に据えた総合的なアプローチ

### 1. 感覚統合と姿勢改善の重要性

感覚統合は、個人の外部からの感覚刺激を適切に処理し、統合する能力であり姿勢改善は、身体的な姿勢や姿勢制御です。この要素は、個人の行動や学習に深く関与し適切な発達や適応能力を支援します。

### 2. 感覚統合と姿勢改善の関係

感覚統合の問題や経験不足は、姿勢や行動に影響を与える可能性が高く、適切な感覚統合と姿勢改善は、個人の快適さや適応能力を向上させるために密接に関連しています。

### 3. 支援や介入の重要性

TEACCHアプローチは、環境の調整やビジュアル支援を重視し、個人の自立性や適応能力を向上させることを目指します。

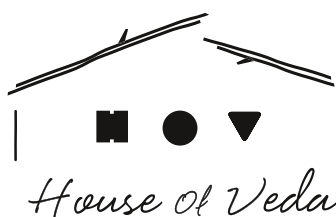
ABAは、行動の評価と介入を中心に据えたアプローチであり、個人の行動や学習を改善することを目指します。

感覚統合と姿勢改善を中心に据えたアプローチが、TEACCHにおける個々のニーズや状況に応じた支援や介入を提供する上であり、ABAにおける個々の行動や学習に対する適切な反応を育成する上でも重要です。

### 4. 統合的なアプローチ

感覚統合と姿勢改善を中心に据えたアプローチは、個々の人々の発達や適応性の向上を促すために重要です。

適切な経験や刺激が提供され、個人の感覚統合と姿勢改善が促進されることで、行動や学習に対する適切な反応が育成されます。



# 生きる力～5つの要素～

## 感覚統合と感覚統合の関係

### 【認知トレーニング】

認知トレーニングは、個人の認知機能や認知プロセス（知覚、注意、記憶、言語、問題解決能力、情報処理能力など）を向上させるためのプログラムやアプローチです。

これらの認知機能の改善、日常生活や学習能力の向上のため、記憶力、問題解決能力の強化、情報処理能力の向上と効率化を目指してトレーニングします。

### 【非認知トレーニング】

非認知トレーニングは、個人の認知以外のスキルや能力を向上させるためのプログラムやアプローチです。認知以外のスキルとは、情緒的な制御、社会的なスキル、行動の管理、問題解決能力などを指します。

これらのスキルや能力を発達させ、個人の日常生活や社会的な相互作用、学習能力を向上させることを目的としています。コミュニケーション能力、共同作業能力、感情調整、社会的スキル、ストレス管理などを個々のニーズや目標に合わせて設計し、成長や適応性の向上を促します。

### 【SST】

ソーシャルスキルトレーニングは、個人が他者と効果的にコミュニケーションし、社会的な相互作用を行うためのスキルを向上させるトレーニングです。このトレーニングは非認知トレーニングの一部です。

適切なソーシャルスキルを持つことで、人間関係の構築や維持、コミュニケーションの円滑化、協調性に役立て、向上を目指します。

## 姿勢と認知・非認知トレーニング、および感覚統合との関係感

### 姿勢と感覚統合と認知トレーニング

正しい姿勢を保つことは、認知トレーニングにも影響を与えます。良好な姿勢を維持することが、学習や認知機能にプラスの影響を与え、集中力や注意力を高め、認知タスクのパフォーマンス向上と促進になるためです。また、感覚統合が適切に行われることで、外部の情報の処理と認知プロセスに関連する情報を統合することが可能になります。感覚統合の問題がある場合、学習や認知プロセスに障害を引き起こす可能性が高くなります。

### 身体的な側面

姿勢は身体的な側面に関連しており、適切な姿勢を保つことは学習や行動に影響を与える可能性があります。正しい姿勢を維持することが集中力や注意力を高め、学習効果につながります。そのため非認知トレーニングの一部として、姿勢の改善や身体的な快適さを促すプログラムが含まれる傾向があります。

### 学習や行動への影響

姿勢は学習や行動にも影響を与える可能性があるため、姿勢が悪い場合、身体の不快感や疲労感が生じ、学習や作業パフォーマンスが低下します。適切な姿勢を維持することは、学習や行動の効果的な実行に寄与することができます。

姿勢は身体的な側面、感覚統合、学習や行動の面で認知・非認知トレーニングと関連しています。適切な姿勢の維持には感覚統合力が必要不可欠であり、感覚統合力の向上が学習や行動変化に重要です。

## 【TEACCH】【ABA】

TEACCHとABAは、ともに自閉症スペクトラム障害の個人に対する支援や介入に使用されるアプローチです。

TEACCHは環境の調整やビジュアル支援を重視し、個々のニーズに応じてプログラムを提供します。

ABAは行動の評価と介入を中心に据え、望ましい行動を増やしたり、望ましくない行動を減らしたりするための具体的な戦略を提供します。

感覚統合、および姿勢改善は、自閉症スペクトラム障害（ASD）を持つ個人のサポートや発達に関連する様々な側面をカバーします。

感覚統合はTEACCHやABAのアプローチの中で、個人のニーズや状況に応じて重要な役割を果たす要素として位置付けられます。

感覚統合の基礎が確立され、個々の感覚情報が適切に処理されることで、TEACCHやABAのアプローチが効果的に実行される基盤が提供されます。

### 感覚統合との関係

自閉症スペクトラム障害の人々の中には、感覚統合の問題を抱えている人もいます。感覚統合の問題があると、外部からの刺激に対する過敏性や適応能力の低下などが生じる可能性があります。TEACCHアプローチは、個人の感覚統合のニーズに応じて環境を調整し、感覚統合をサポートするビジュアル支援や構造化されたルーチンを提供することで、個人の快適さや適応能力を向上させることができます。

### 姿勢改善との関係

自閉症スペクトラム障害を持つ人々の中には、姿勢や運動の制御に関する問題を抱えている場合があります。TEACCHアプローチは、姿勢や運動の制御に関するトレーニングを含む場合があります。また、適切な姿勢を維持することがコミュニケーションや学習の効果的な実行にも重要であるため、姿勢改善プログラムが組み込まれることもあります。

## 総括

姿勢改善と感覚統合を中心に据えた発達支援は、個人の発達や適応性の向上に重要な役割を果たします。

姿勢改善は、個人の身体的な姿勢や姿勢制御を向上させることで、身体的な快適さや機能性を向上させます。

感覚統合は、外部からの感覚刺激を適切に処理し、統合する能力を指し、個人の行動や学習に深く関与します。

このアプローチによって、個人の感覚統合の問題や姿勢の不適切な側面を特定し、適切な支援や介入を提供します。

感覚統合の問題がある場合、特定の感覚刺激に対して過敏であるか、反応が適切でないか、あるいは感覚情報の処理や統合に問題がある可能性があります。

姿勢改善の場合も、個人の身体的な特性や制御に問題が生じるため、適切な姿勢の獲得や維持を支援します。

発達支援の中で姿勢改善と感覚統合を軸に据えることで、個人の発達や適応性の向上に向けた総合的なアプローチを提供し、個々のニーズや状況に応じて、感覚統合や姿勢改善に焦点を当てたプログラムや活動を設計し、個人の成長や発達を促します。



## ～私たちの支援スタンス～

House Of Vedaでは"経験"の中で育む支援を大切にしています。制限や強制的なアプローチは行いません。自発性を大切にし、個人の成長や発達を支援します。日々の活動だけでなく、様々な経験を通じて育む支援を大切に特別プログラム・おけいこを取り入れています。

### 1. 体験を提供する

- 個人に多様な体験を提供することで、新しいスキルや知識を獲得し、自己成長を促進します。アクティビティや文化的なイベントによって多様な感性を育みます。

### 2. 学習機会を創出する

- 個人に学習機会を提供し、興味や関心を育てます。教育的なイベントやワークショップ、アートや音楽の授業、ディスカッションなどを行っています。

### 3. 挑戦と成長を促す

- 個人が自己の能力を試し、成長する機会を提供します。新しいスキルや挑戦的なタスクへの取り組み、問題解決や創造的な活動への参加などを通して促します。

### 4. サポートとフィードバックを提供する

- 個人が経験から学び、成長するために、サポートやフィードバックを提供します。

利用毎に写真付きの活動報告をお渡しします。

経験を中心に据えた支援は、個人の自己成長や自己発見を促進し、個人が豊かな人生を送るための基盤を築くのに役立ちます。

## ～多様で長期的な運動プログラムによるワーキングメモリの改善～

### 運動支援とワーキングメモリ改善の関係

運動や身体的活動は、ワーキングメモリの容量や処理能力を向上させる可能性が高く、注意の向上に繋がります。

姿勢改善と運動によって、個人の注意力が向上し、ワーキングメモリの処理能力が増加し認知機能の促しにも寄与します。

姿勢改善と運動は、身体的な健康と運動発達だけでなく、情報処理能力や問題解決能力、言語処理能力の促進にもなります。

### ～変化の視覚化～

姿勢改善と感覚統合による変化を写真とデータに残し記録しています。



右：2022/12



左：2023/4



兵衛 5歳児 足底圧計測評価2022.11月-9月現在  
①現在の状態 ②理想的なバランスへの課題



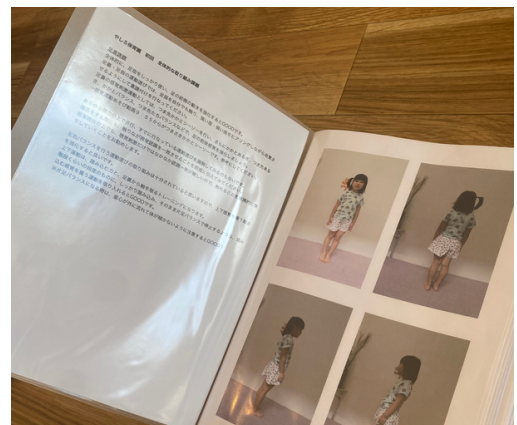
初回2022.11.10測定評価  
①右重心・左足親指以外浮指  
②重心は右に乗っているが、左右バランスは足の内側に強く、足裏全体の感覚のバランスを養う必要あり。  
→足裏マッサージや、足指を使っての遊びを増やし、足裏全体の感覚を刺激してください。



2回目2023.2.3測定評価  
①前回に比べて足指感覚の向上、内側バランスが軽減されています。GOODです！  
②まだ右の感覚優位なので左足への意識強化を。(優位性は誰にでもあります。右優位なのは確かかと思いますが、ここを左に変える必要はありません。)左の踵に重心が乗るよう、踵歩きなどを遊びの中で行ってください。



3回目2023.9.1測定評価  
①左右の足底圧の偏りが非常に良くなっています！素晴らしいです。  
②左右の足指もしっかり使えるようになっていますね！重心も左右均等に踵に乗っていますし、足裏全体(足指・踵・母指球)でしっかり立っています。この調子で足裏感覚運動を継続してください。



## House Of Vedaが姿勢改善を大切にしている理由

姿勢改善が発達の躓きに有効な理由は実に多様ですが、まず第一に、姿勢改善には発達の土台となる感覚統合第一段が重要となるため、姿勢改善に伴い第一段階にある感覚の統合力の向上が見込めます。

そして何より、正しい姿勢づくりは身体のバランスと安定性を向上させ、運動能力の改善、自律神経の調整に役立ちます。

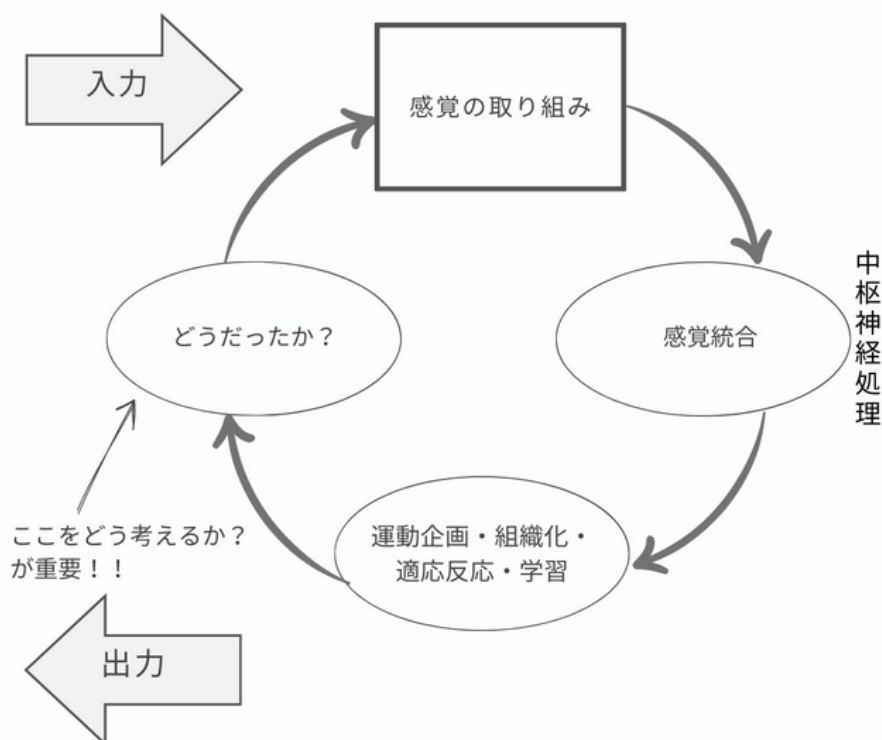
姿勢は良くも悪くも筋肉の発達や骨格の成長に影響が深く、良い姿勢は運動能力の向上や日常生活での動作の効率性が高まり、発達遅延や学習障害などの問題軽減に導きます。

姿勢改善に必要な姿勢感覚は、身体の位置や動きを感じる能力であり、これが不十分だと発達に支障をきたしやすいことがわかっています。

姿勢改善を通じて姿勢感覚が向上すれば、身体の動きや位置を適切に認識し、運動の調整や協調が改善されます。

さらに良い姿勢は自己イメージや自信の向上にもつながります。

良い姿勢を保てるようになると、感覚統合力が向上し、脳のインプット・アウトプットがスムーズになります。自己感覚を信じ、気づきを元に行動変化を重ねることで自己肯定感が高まり、発達の過程において重要な自己肯定感が向上し、学習意欲や社会的な関わり方が良くなります。





## 姿勢感覚とは？

姿勢感覚は、身体の位置や動きを感じるための感覚です。

これは身体の内部からの情報を利用して、身体の部位の位置や動きを把握し、調整する能力を指します。例えば、目を閉じていても手や足がどの位置にあるかを感じることができるのは、姿勢感覚が働いているからです。

身体をバランスよく保つためには、姿勢感覚が重要です。

姿勢感覚の働きによって、身体の動きや位置を正確に把握し、適切に調整することができます。これにより、身体の安定性が向上し、運動能力や日常生活の動作の効率性が高まります。

発達の過程において、姿勢感覚が不十分だと、身体の動きや位置を正確に認識できず、運動の協調性や身体のバランスが乱れることがあります。そのため姿勢感覚の向上は、発達支援の重要な要素となります。

## 姿勢感覚は感覚統合の基礎土台！

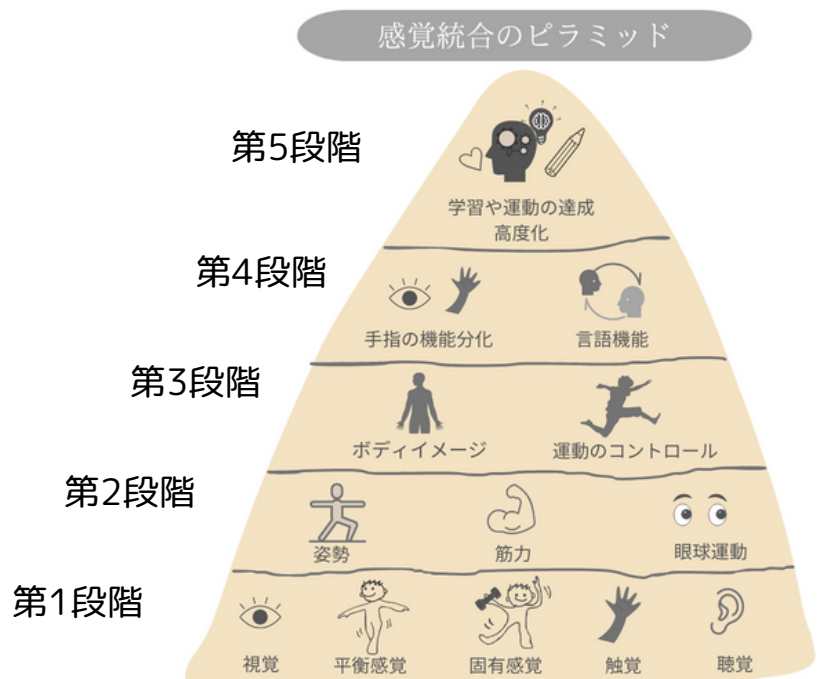
姿勢感覚は、感覚統合の一部であり、身体の位置や動きを感じるための感覚です。感覚統合力は、複数の感覚（視覚、聴覚、触覚など）を統合し、適切に処理して身体の動きや行動を調整する能力を指します。

姿勢感覚はその中の一つであり、身体の位置や動きを感じ取り、それに基づいて適切な反応や動作を行うための重要な役割を果たします。

## ズバリ、姿勢感覚とは平衡感覚と固有感覚！

姿勢感覚は、平衡感覚（バランス感覚）と固有感覚（力加減）です。

平衡感覚は身体のバランスを保つための感覚であり、固有感覚は、身体の部位の位置や動きを感じ取った上で必要な力を調整する感覚です。これらの感覚が統合されて、姿勢感覚が形成されます。



# 生きる力の土台育成

この考えは、療育施設に限らず、社会性を築くことにおいても重要であると考えています。

未来ある子供たちの教育環境に、このような環境を作ることができれば、将来的な自立生活と共に、それぞれの特性が立派な個性として受け入れられやすくなると信じています。

ヨガトレ®x療育の新しい療育のカタチとは、ただ動的にヨガやトレーニングを行うことだけではありません。

その中で、着実に自己感覚力を高め、心とカラダのバランスを調整することと考えています。

私たちは、子どもの特性を活かし、将来に繋げていきたいと心から思っているので、スタッフ一同、日々学ぶ姿勢を絶やさず、精進し続ける気持ちでここで働いています。

